

グループ1の意見

赤井川村にはどういった資源があるのかを考えてみた

- ・むらバス
- ・自然
- ・立地が良い（小樽へのアクセス等）
- ・キロロリゾート
- ・農産物

村が抱えている課題

- ・観光客を増やしたい
- ・人口を増やしたい→新規就農等の取組を行っている

ゼロカーボンの視点にたって

- ・車の更新をするときにエコカーにする
- ・暖房やエアコンを節約する
- ・電気の使用量を抑える
- ・設備の建て替えに省エネ資材の導入を検討
- ・服装の配慮で暖房を節約
- ・造林計画を進めている

地産地消で経済の活性

- ・キロロでも地元の農産物を使っているが小規模農家が多く、大量の料理提供には厳しく、他の産地の農産物を使わざる負えないという課題もある。

くらしの視点

- ・むらバスは便数が少ない
- ・EV等の検討もしたが、寒冷地ということがあり導入が厳しい

つなぐ

- ・農村フェスなどでゼロカーボンをコンセプトにしたものがあると良い
- ・学校の総合学習等でゼロカーボンを学ぶ、考える

取り組みへの理解

- ・なかなか難しい
- ・皆のメリットを共有できると良い（節約でお得に）

石井教授からのコメント

人口を増やすことよりも関係人口、交流人口を増やす方がいいのかなと思います。

地産地消と省エネ設備の導入はぜひ検討してください。

むらバスは1台を定期運航にして、1台はデマンドバスにする（ワゴンとかでもいい）

法律的にまだ厳しい部分はあるがライドシェアの導入なども検討してみしてほしい。

農村フェスはぜひ頑張って続けて下さい。関係人口が増えるきっかけになります。

最初は脱炭素にこだわらず、みんなで楽しんで集まれる機会があればいいと思います。人が沢山集まれば、おのずとスケールも大きくなり、いろんなことができるようになります。

グループ2の意見

- ・車を小さく、家族に見合った大きさにしよう
- ・冬の灯油代金を〇〇円まで節約しようなどの具体的な目標を立てる
- ・部屋の温度を23度など低くめに設定する
- ・家族が居間に集まることで他の部屋の電気の使用量を減らせる
- ・ボイラーの温度設定を夏も冬も常に一定の設定にする（50度）
- ・雪の工夫で除雪車やトラックを使わないようにする
- ・このようなみんなで集まる機会を増やしてほしい、
- ・周りにも拡散していこう

石井教授からのコメント

こちらのグループは我が家の工夫を共有していました。各家庭が実験的に節電や暖房の使用量の削減に取り組んでいる。みんなの取り組みをシェアする機会は大事だと思います。

除雪に関しては、役場でも雪氷冷熱の活用などでプロジェクトかしてほしい。

小学校中学校でもSDGsに関連付けて、広めることができるのではないかと思います。